

報道関係者各位

公益財団法人笹川平和財団 (SPF)

講演会のご案内

マイケル・アマコスト (Michael Armacost) 氏が語る
「変革期の日米関係—新時代のパートナーシップ構築に向けて」

モデレーター：田中 均 日本総合研究所理事長

笹川平和財団（東京都港区、会長：羽生次郎）日米交流プログラムでは、元駐日米国大使マイケル・アマコスト氏をお迎えし5月15日（火）に講演会を開催致します。アマコスト大使は1969年に国務省に入省後、24年間に渡り国務省、国防総省、国家安全保障委員会等において米国政府の要職を歴任し、1989年から1993年まで駐日米国大使を務めたアジア外交問題の専門家です。

同氏が駐日大使を務めた時代、日本はバブルの絶頂にあり、日米間の貿易摩擦、冷戦の崩壊、湾岸戦争など大きな変革の時代にありました。その後20年を経て、アジア太平洋地域は新たなパワーバランスの変動の中にあります。

日米両国の新しいパートナーシップ構築が必要とされる今、かつて激動の時代に日米間のパイプ役を務めた米国外交官の目に、今後両国の進むべき道はどのように映るのか？二つの時代を比較しつつ、特に沖縄問題、TPP、エネルギー安全保障の問題など、現在両国が直面する課題についてお話しいたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2012年5月15日(火) 17:00-18:30 (16:30 受付開始)

場所：日本財団ビル 2F 大会議室（東京都港区赤坂1-2-2）

日英同時通訳付 入場無料

お申込み連絡先：SPF 日米交流事業担当 藤本千佳

Tel. 03-6229-5426 E-mail: japan-us@spf.or.jp

Fax: 03-6229-5473 (添付の申込み用紙をお送りください。)



マイケル・アマコスト氏略歴：カールトン・カレッジ卒業。コロンビア大学で修士号および博士号を取得。1969年にホワイトハウス特別研究員として国務省に入省後、国家安全保障会議東アジア担当上級スタッフ、国防副次官補、東アジア太平洋担当国務副次官補など24年間に渡り政府要職を歴任。1982-84年まで駐フィリピン大使、1984-89年まで政治担当国務次官。1989-93年まで駐日米国大使を務めた。退官後は1995-2002年までブルッキングス研究所の理事長。2002年からはスタンフォード大学 Shorenstein アジア太平洋研究センターで特別上席研究員。現在アジア財団の取締役会議長も務める。主著に *Friends or Rivals?* (邦訳『友か敵か』読売新聞社1996年)等のほか、大統領功労賞、国務長官特別功労賞を含む多くの受賞歴があり、日本では2007年に旭日大綬章を受章している。

SPF 広報(兵藤) 〒107-8523 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4階

電話 (03)6229-5456, 080-1249-7536 FAX (03)6229-5473 Email spfpr@spf.or.jp

ホームページ <http://www.spf.org>

Press Release :

笹川平和財団主催
2012年5月15日(火)
マイケル・アマコスト氏講演会
申込用紙

笹川平和財団事業部 日米交流事業チーム 藤本宛
FAX : 03-6229-5473 TEL: 03-6229-5426、Email: japan-us@spf.or.jp

□5月15日(火)のマイケル・アマコスト氏 講演会参加希望

フリガナ

お名前 : _____

御社名 : _____

部課名 : _____

役職 : _____

ご住所 : _____

TEL: _____ FAX: _____ E-mail: _____